

無痛分娩についての同意書

【方法】

硬膜外麻酔という局所麻酔を用いた方法で行います。硬膜外麻酔とは、脊椎の硬膜外腔というスペースに細いカテーテルを留置して、局所麻酔薬を投与する方法です。

【無痛分娩の長所】

- ①分娩に伴う痛みを全く、もしくはほとんど感じなくなります。
- ②体力の消耗が抑えられ、産後の回復が早くなります。
- ③痛みを感じないことで母体の呼吸状態が安定し、赤ちゃんへの良い影響が期待されます。
- ④十分な鎮痛が得られるため、分娩後の処置の安全性が向上します。
- ⑤妊娠高血圧症の方では、分娩の痛みによる血圧の上昇を抑えることができます。
- ⑥帝王切開での分娩に切り替わった場合も、多くの場合カテーテルから麻酔薬を追加することで手術が行えます。

【無痛分娩の短所】

○比較的よく起こる副作用や不具合

- ①麻酔により、足に力が入りにくくなります。お一人での歩行は避けてください。
- ②いきみが弱くなったりすることがありますが適切に指導いたしますので、みなさんいきむことができるようになります。
- ③血圧が下がりお母さんの気分が悪くなる場合がありますが、通常、点滴により改善します。
- ④麻酔中、尿を出しにくくなる場合がありますので、膀胱にカテーテルを留置します。麻酔が効いている状態で行いますので痛みはありません。
- ⑤10%程度の方に発熱を認める場合がありますが、解熱剤の使用で改善します。
- ⑥初めて分娩する方では平均で約1時間、2回目以降の分娩の方では、平均で約30分程度分娩にかかる時間が長くなるといわれています。
- ⑦効果不良・脱落等により硬膜外麻酔の入れ替えが必要になることがあります。(5%程度)
- ⑧穿刺により硬膜が傷つき、頭痛を起こす方が、1%程度いるとされています。
- ⑨無痛分娩では、普通分娩と比較して吸引分娩・鉗子分娩が必要になる可能性が10%程度上がります。(分娩方法が帝王切開にかわる可能性は普通分娩のときと変わりません。)

○ごくまれにおこる不具合 (50,000分の1～250,000分の1程度)

- ⑨カテーテルが血管の中に迷入し、硬膜外腔に注入されるはずの麻酔薬が血管の中に注入されてしまうことで、局所麻酔薬中毒(麻酔薬の血中濃度が高くなってしまうことによる症状)が起こることがあります。初期の症状として耳鳴りや舌のしびれ(金属の味を感じるなど)、重症では不整脈やけいれんを起こしたりすることがあります。症状を感じた場合はスタッフにお声がけしてください。硬膜外麻酔を入れ替えるなど適切な対処をとります。初期症状のうちにお声がけいただければ、重症となることはありませんのでご安心ください。万が一重症化した場合には、治療薬の投与や人工呼吸など、適切な処置を行います。

⑩文献的には、穿刺により硬膜外腔に血のかたまりや膿のたまりができ、一時的もしくは永久的な神経の障害（知覚異常、下半身麻痺など）が起こることがあると報告されています。

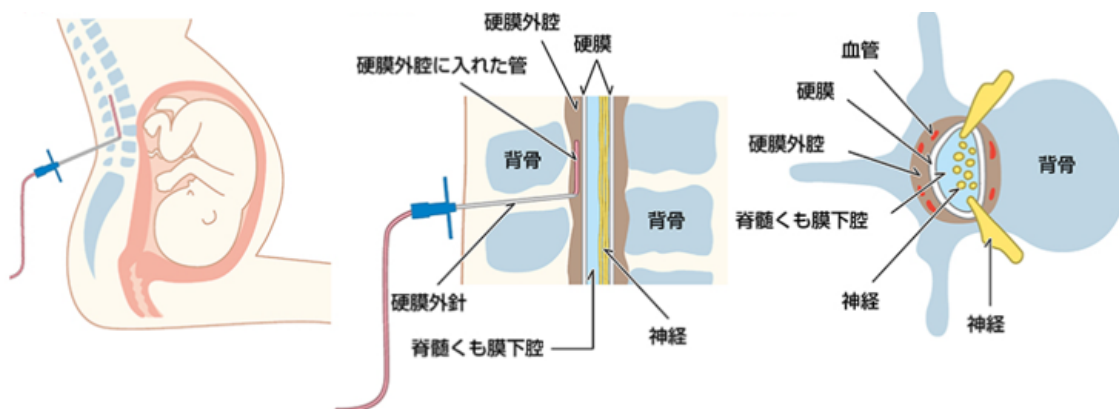
⑪文献的には、カテーテルが硬膜外腔の奥にある脊髄クモ膜下腔に入り、全脊髄クモ膜下麻酔となることがあると報告されています。この場合、血圧が急激に下がったり、呼吸ができなくなったり、意識を失ったりすることがあります。万が一発生した場合には、人工呼吸をはじめとする適切な処置を行います。

【無痛分娩中の注意点】

食事：無痛分娩中は、絶食となります。水、スポーツドリンク、ヴィダーインゼリーなどは摂取可能です。（果汁飲料、炭酸飲料などは避けてください）

【無痛分娩の費用】

当院で無痛分娩を行った場合は、麻酔開始のタイミング、分娩終了までの時間、分娩方法に関係なく（帝王切開分娩に変更となった場合も含む）、分娩費用に15万円が加算されます。



真島クリニック 院長殿

私は、無痛分娩について十分な説明を受けました。内容を理解しましたので、今回の処置を受けることを申し込みます。なお、緊急・予想外の状況が発生した場合は、最善と考えられる緊急処置を受けることにも同意いたします。

年 月 日

（本人）住所：

氏名： _____ ：印または自署 _____

（親権者または代諾人）（本人との続柄： _____）

住所：

氏名： _____ ：印または自署 _____

2024.6 改定